

ICD-11 Pediatric TAG の進捗状況

他の TAGs と比べてスタートが遅かったこと、小児科学が非常に広汎な分野をカバーしていることから、単独で revision を行っていくというよりも、既に他の TAGs で改訂が行われた内容について小児科的に検討し、さらなる revision を提案するというスタンスで活動している。

Pediatric TAG のメンバーは、世界それぞれのブロックを代表する形で選出されているが、それ以外に以下の Working Group を組織している。

Allergy/Immunology, Cardiology, Dental/Oral Health, Dermatology, ENT, Gastroenterology, Genetic Medicine, Hematology/Oncology, Infectious Diseases, Mental/Behavioral Health, Neonatology, Nephrology, Respiratory Medicine, Rheumatology

以上の WG による”proposed revisions”は、それぞれの collaborating TAGs で協議してもらうべく提出された。一部の WG に関しては、なお作業中のものがある。

全ての先天性疾患・先天異常は「Rare Diseases TAG」ではなく、「Pediatric TAG」が作業の主体となることが、WHO によって定められた。

2012 年 11 月 5 日

文責：森内浩幸（日本小児科学会）